

令和 5 年度学校評価報告書

令和 6 年 (2024年)年 3 月 27 日

北海道教育委員会教育長 様

北海道恵庭北高等学校長

次のとおり令和 5 年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1)主体的に学び、思考・判断することで、自らの未来を切り拓き学び続ける生徒を育てる。
(2)自律の精神を養い、社会の一員としての自覚と自己実現のために行動する生徒を育てる。
(3)心身の健康増進を図り、さまざまな事に挑戦し粘り強くやり遂げる逞しい生徒を育てる。
(4)郷土や自他を愛し、協働する喜びと多様な価値観を認め合う人間性豊かな生徒を育てる。
(5)学校における働き方改革を推進し、教職員相互の資質能力を高め合う職場づくりに努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	このことについて目標の達成状況、取組の適切さはおおむね十分であると評価する。	○左記の自己評価、改善方策はほぼ適切との評価をいただいた。
改善方策	(1) 基礎・基本の定着を図るため指導方法の工夫・改善や I C T を活用した家庭学習の充実に努める。 (2) 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善や観点別評価と、教科横断的な活動を通じて新たな取組に着手するとともに、探究活動の充実に努める。	
生徒指導	このことについて目標の達成状況、取組の適切さはおおむね十分であると評価する。	○左記の自己評価はほぼ適切、改善方策は適切との評価をいただいた。
改善方策	(1) 教職員間の連携強化を図り情報共有するとともに、課題予防的指導・課題未然防止教育の充実に努めきめ細かな指導に努める。 (2) 教育相談体制を更に整え自己有用感や多様な価値観の育成に努める。	
進路指導	このことについて目標の達成状況、取組の適切さはおおむね十分であると評価する。	○左記の自己評価、改善方策はほぼ適切との評価をいただいた。
改善方策	(1) 学年、分掌等が連携して 3 年間を見通したキャリア教育計画を推進し、身に付けさせたい資質・能力を教職員間で共通理解を図る。 (2) 多様な進路目標実現に向け地域や関係機関等と連携し職業観や勤労観を育成する。	
健康安全指導	このことについて目標の達成状況、取組の適切さはおおむね十分であると評価する。	○左記の自己評価はほぼ適切、改善方策は適切との評価をいただいた。
改善方策	(1) 自他の生命の尊さや基本的生活習慣の定着を図り、感染防止対策を含めた自己健康管理能力を育成する。	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
組織運営	このことについて目標の達成状況、取組の適切さはおおむね十分であると評価する。	○左記の自己評価、改善方策はほぼ適切との評価をいただいた。
改善方策	(1) 学校教育目標の具現化を図るため、諸課題に対し学年、分掌をはじめとする協働体制を整え、教職員相互の連携強化に努める。 (2) 迅速な報告・連絡・相談を確実に図り、組織として共通認識を持った丁寧な学校運営に努める。 (3) 組織についても改善の見通しが立ってきている。	
いじめ対策	このことについて目標の達成状況、取組の適切さはおおむね十分であると評価する。	○左記の自己評価、改善方策はほぼ適切との評価をいただいた。
改善方策	(1) いじめ防止対策委員会を更に活発に推進することで、いじめの早期発見、早期解消の取組を継続して重視するとともに、生徒の自主的な取組も生かしながらいじめ根絶を図る。 (2) 定期的なネットパトロールを通じてタイムリーな指導及び情報発信に努める。	
信頼される学校づくり	このことについて目標の達成状況、取組の適切さはおおむね十分であると評価する。生徒に対して適切な態度で教育活動を推進することができた。	○左記の自己評価はほぼ適切、改善方策は適切との評価をいただいた。
改善方策	(1) 生徒、保護者、地域の期待に応えるため法令及び服務規律を遵守し、自己研鑽に努め資質能力の向上を図る。 (2) 地域や関係機関等との連携を密にし、情報発信等を通じて教育活動への理解と協力を図る。	
今日的課題	このことについて目標の達成状況、取組の適切さはおおむね十分であると評価する。	○左記の自己評価、改善方策はほぼ適切との評価をいただいた。
改善方策	(1) 北海道アクションプランを理解した部活動指導や業務に平準化を図り、働きかた改革に努めることにより、生徒と直接対話する時間を多く確保する。	